

## 泉川校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成25年7月18日(木) 19時～20時54分  
場所 泉川公民館  
参加者数 男65人 女20人 合計85人



### 1 校区の課題

課題名 ( 健康寿命を延ばそう )

質疑応答 (要約)

A～Dグループに分かれ、テーマ別に協議を行った。各グループの進行役を務めたブロック長(自治会長)からの概要報告は次のとおり。参加者からの自由発言を基調としている。

#### A 健康づくり (川東連合自治会 石川会長 24人参加)

- ・ 公民館主催行事として毎朝のウォーキングを希望する
- ・ 毎日の早起きとウォーキング、月半分の休肝日を設けることが健康の秘訣
- ・ リハビリ体験者からの提言は、筋トレと食事療法を組み合わせた健康法
- ・ 自治会館をフル活用し、毎週1回講師を招いて健康体操を実施予定の自治会あり
- ・ 寝たきり予防には、骨折と血管の詰まり・破裂を防ぐことが肝要  
→ いりこの摂食と毎日ラジオ体操を励行している
- ・ 気軽に誰でも楽しめて、競技性のあるスポーツ(ダーツ、輪投げ等)を採用し、より多くの人が参加できるようにする

B 生きがいつくり（上泉連合自治会 中野会長 16人参加）

- ・ 3世代交流事業の活発化
- ・ 学校支援活動を更に推進する
- ・ 花壇整備が地域の方にも喜ばれている
- ・ 公民館との距離感を感じている方もいるので、距離感をなくし、気軽に立ち寄れる試みをお願いしたい。
- ・ ごみ収集箇所の美化活動の取り組み

C 居場所づくり（下泉連合自治会 矢野会長 14人参加）

- ・ 自治会館をフルに活用することに尽きるというのが結論 → 交流の輪を広げよう
- ・ 人集めには、率先してやってくれる人が必要 ⇔ 人材の確保
- ・ 家から出て、多くの人と交流することから、仲間づくりへ進む

D 話し相手づくり（松木坂井自治会 相原会長 11人参加）

- ・ 民生児童委員さんから、民生委員には険しい顔つきの高齢者も、子供相手だと笑顔になるとの報告あり
- ・ 高齢者の話し相手になるには、無条件で受け入れる、否定しない、相手の気持ちになって相槌を打つこと等が大切
- ・ 傾聴ボランティアを続けると、始めは高齢者のためと思っていたが、自分のためにもなっていることを自覚した
- ・ 子供と高齢者をつなぐ新たな活動ができないか

※ 再検討事項 なし

## 2 その他

全体質疑の時間に、次のような発言があった。

(1) 原田さん 長田通りの駅北への延伸を強く要望する

約60年前、当時の泉川町長の英断によって築造された長田通りが放置されているのは遺憾である。長田通りは、立地に恵まれた上部地区最長の直線道路であり、沿線に商業施設もそろっているのに線路で分断されているため、いまひとつ活性化していない。

南北自由通路では、抜本的解決に繋がらない。高専通りの駅南への延伸計画は、順番が逆である。

(2) 鈴木さん 原田氏に同調。道路がまちの発展の礎である。

(3) 渡辺さん 上泉雨水幹線築造工事の進捗状況と公民館以西の計画についての質疑があり、伊藤下水道建設課長の説明を受けた後、予算上の制約から今年度工事を中断しているが、下水幹線の完成箇所から順次枝線接続に取り組んで欲しいとの要望あり。

(1)(2)については、石川市長から「これから都市計画マスタープランの策定過程において、地域住民をはじめ多数の市民の意見を伺い、どのように取り組むのが最良の方法なのか、できるだけ早いうちに方向性を決めたい。是非とも皆さんから多くのご意見をいただきたい。」との発言があった。